

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6 年 4 月 10 日

事業所名 社会福祉法人竹伸会 ひまわり教室

保護者等数（児童数） 12 回収数 12 割合 100%

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・野外での活動も多く、十分だと思う。 ・隣が園庭で公園に行かなくても外遊びができるのでいいと思う。 ・歩く事も多くなり、行動範囲が広がってきたのもう少し広いといいかなと思う。 ・広いとは言えないが、活動場所を活かしたムーブメントなどを考えていると思う。 ・建物は限られたスペースだが、園庭が使用できるため、どちらともいえない。 ・ダンスの活動、遊ぶスペース、荷物を置くスペースなどあり十分だと思う。 ・1日の利用人数が多くないので十分な広さだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の改修工事により以前よりも広くスペースを確保することが出来たと思います。 ・隣の園庭を有効活用しながら、広さを生かし体を動かす活動も取り入れていきます。 	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの職員が子ども達の特性に合わせて対応していると思う。 ・利用者の特性を理解するため、保護者との情報共有を積極的に行なっている。 ・学校からの宿題をしている時に分からない所を聞くを教えてくれるようで助かっている。 ・配置数に関して基準は分からないが、いろいろな発達のお子さんがあるので、適切かどうか分からない。（忙しそうだなと感じている。） ・子どものことをとても理解してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭、小学校教諭、児童指導員が教育にあっています。宿題などの学習の時には個別に対応しています。 	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上、完全なバリアフリー化は難しいと思うが、必要な対策はしていると思う。 ・内装の細部まで把握していない。 ・あまり細かく注意してみたことがないので分からないが、見る機会などあるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関にはスロープ、階段には手すりを設けています。 ・プレイルームはバリアフリー化し子ども達が過ごしやすいようにしています。 	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談をし、子どもの特性や家族の思いに寄り添った支援計画を作成していると思う。 ・しっかり時間を取り、話し合いができているので安心して任せられる。 ・定期的に懇談があったり、関係者同士でカンファレンスを行ったり、情報共有したことが計画に反映されている。 ・友達との付き合い、声掛けなど楽しく過ごしてほしいのに対して必要な支援を考えてもらっている。 ・保護者の要望を理解し、子どもに必要な計画を作成してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めにアンケートを配布し、保護者やお子さんのニーズを理解した上で個別支援計画を作成しています。 ・個人懇談会の中で、モニタリングしながら内容を確認し計画書を作成しています。 	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を計画し、多くの経験をさせてもらっている。 ・毎日違ったスケジュールが組まれており、幅広い年齢の利用者の中でも十分に楽しめる内容を工夫していると思う。 ・外出する機会も結構あり、楽しく通所させてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた活動や、施設外での活動も取り入れて固定化しないよう活動計画を立てています。 ・繰り返し練習して身につける事や社会でのルールを知る体験が出来るように毎年内容を検討し活動を工夫しています。 ・一人ひとりが出来ることや、得意とすることを十分発揮できるように活動内容を考慮しています。 	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・他児童館とのステージ発表や活動する機会があり、交流の輪が広がる。 ・ハートフル文化祭をとても楽しみにしていて、特に今年は手話ダンスがみんなとても上手にできていて良かったと思う。 ・交流があった日は利用日ではない為参加していない。機会があることはいいことだと思う。様子を見るのが大変そうだなとは思ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、くりのみ児童館との交流を行い、一緒に制作物を作ったり、手話ダンスを楽しんだりしています。 ・今年も、ハートフル文化祭に参加し、絵本を題材にした絵の作品を出展したり、手話ダンスを披露したりしました。 	

保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	・面談時に説明があり、書面でも確認できている。 ・重要事項説明書を取り交わす時に読み上げて説明をさせて頂いています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	・迎えに行くとき今日の事を詳しく話してもらるので、本人も褒めてもらうこともあり嬉しそうに話を聞いている。 ・普段の活動は「こんな風でした」と報告があるが、いつもと違って嫌がったり困った時があった場合は「こんな声かけをしてこんな風にして納得してもらいました」と経緯を伝えてもらい安心している。 ・バスの送迎時やお迎えの時に、活動の内容などをお伝えしながら、保護者の方との情報共有をしています。 ・連絡帳を通じて、家庭での様子やひまわり教室での様子を確認し合い、そこで課題が見えた場合は保護者と話し合い、共通理解できるようにしています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	・面談時以外でも相談しやすく問題点や課題があれば一緒に考えて下さり、助言をもらっている。 ・年に数回面談が実施され、いろいろ助言をいただいております。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	66.7%	25.0%	8.3%	・支援学校や支援学級を考えるタイミングが結構悩むと思うので、それぞれの意見を聞けるような会があればいいと思う。 ・コロナの影響で回数は少ないが、昨年は家族旅行(遠足)があった。 ・旅行や大集会等他の保護者と関わる機会が設けられている。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	66.7%	33.3%	0.0%	・苦情ではないが、行事等で学校が早く終わる時に送迎は難しいと言われる、最初の頃は学校に迎えに行き連れて行ったりしました。秋ごろくらいには早く学校が終わる時に送迎できずと対応してもらえようになり、ありがたい。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0%	0.0%	0.0%	・連絡帳や送迎時のやり取りで情報伝達できている。 ・迎えに行くとき先生がその日の活動や連絡をしてくれるのでちゃんと話が聞ける。その後子どもに「こんなことをしたの？」と更に聞いて様子がよくわかり安心できる。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・保育活動中などで忙しい時に、電話で連絡するのが申し訳ないと思う時があるので、メールやラインで欠席のやり取りできたらいいと思う。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・HPに掲載することを踏まえてお便りを出し、文書で承諾して頂いています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100.0%	0.0%	0.0%	・おたよりやメール等で知らせてもらっている。 ・インフルエンザ等流行ってくると再度お知らせが来るので分かりやすい。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	91.7%	8.3%	0.0%	・色々な設定での避難訓練をもらっている。 ・利用者全員が避難訓練を出来る様に、年5回各曜日に計画し実施しました。また、消防署の方にご指導いただいています。その結果も玄関に写真を掲載したり、ホームページやお便りで保護者の方に実施状況を伝えています。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%	0.0%	0.0%	・友達との交流を楽しみに毎日通っています。 ・クッキングや戸外など、様々なスケジュールがあり、とても楽しく通所している。 ・第2の家と思うくらいリラックスしている。
	18	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・土曜コースの活動が素晴らしい。また、夏休みや冬休み中も非当の負担がないこともありがたいと思う。 ・こちらのニーズに対して応えてもらうことも多く助かっている。 ・子どもをあたたかく見守ってもらい、感謝している。 ・感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。 ・これからも、子どもたちのためにゆったりした時間の中で楽しい活動を提供できるように工夫していきたいと考えています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果 (公表)

公表: 令和 6 年 4 月 10 日

事業所名 社会福祉法人 竹仲会 ひまわり教室

		チェック項目	はい	どちらか いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	0.0%	隣接しているこども園の園庭や、近くの公園での戸外学習を取り入れ施設外の活動も行なっています。	1日の利用人数を6名までとして、活動スペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	66.6%	33.4%	0.0%	適切に療育・教育が出来る様に職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	0.0%	建物の一部がバリアフリーになっており、出来るだけ車いすなど不便にならないようにしています。	改修工事を行ったので、活動しやすくなりました。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	66.6%	0.0%	33.4%	全職員で話し合う場を設け、年に2回個別支援計画書を立てながら目標を定めて療育・教育しています。	課題が見つかったときには、全職員で話し合い改善できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	年度末に自己評価アンケートを実施し、保護者の方の意向を把握してできるところは改善するようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33.3%	33.3%	33.3%	外部評価は受けていませんが、課題を話し合い業務改善に繋がるようにしています。	ガイドラインを活用し、定期的な評価を行いながら今後検討していきたいと思っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%	特別支援、障がい児研修、虐待研修を受講し、後日全職員に報告し資質向上に努めています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	年度始めにアンケートを取り、子どもと保護者のニーズを確認しそれを踏まえて個別支援計画書を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83.3%	16.7%	0.0%	ふくいっ子ファイルの基礎調査票を使いアセスメントして一人ひとりの状況を把握し、支援しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	50.0%	16.7%	33.3%	毎日の活動や長期休暇での活動は、職員同士が話し合い立案しています。	
適切な 支援 の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	50.0%	50.0%	0.0%	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、戸外の活動が出来なかったのが現状ですが、その分室内の活動を取り入れました。	・買い物学習・社会学習・個別学習・音楽学習・戸外学習・ムーブメント学習などを日々利用者が重ならないように決めて子どもたちへの支援を考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%	0.0%	長期休暇では、テーマを決めて作品を作ったり、じっくりと取り組めるような課題に挑戦しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	宿題や手先を使った活動などは、一人ひとりに合わせたり、学年で合わせたりしています。集団で行う活動ではムーブメントを取り入れた活動も行なっています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	66.6%	33.4%	0.0%	朝礼時に毎日の活動内容を職員同士で確認し、役割の担当などを話し合っています。	主、サブ、サブフリーと役割分担しながら支援を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	33.3%	50.0%	16.7%	活動の終わりには、週案に反省を記入し、全体と個別の支援について振り返り、今後の活動に繋げています。	連絡が漏れないように気づいたことをメモし、全職員が確認できるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	66.6%	33.4%	0.0%	複写式の連絡帳を使用し、個人記録を取っています。また、週案にも同様に記入しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	0.0%	年に2回、個別支援計画書の見直しを行ない、サービス利用計画書を確認しながら相談支援員の方と支援方法について話し合っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	83.3%	16.7%	0.0%	実際に、基本活動を組み合わせる支援を行っています。	ガイドラインの総則を職員で確認しながら支援内容を決めて個別支援計画書にも記入し支援を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	担当の職員と施設長の2人で出席し支援方法を検討しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時、学校の様子などをお聞きしたり、ひまわり教室での様子を伝えたり、また連絡帳を互いに確認しながら情報交換をしています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	16.7%	50.0%	33.3%	発作がある子や緊急の場合は、事前に対応方法を保護者に確認し緊急手段「対応メモ」に準じて判断、対応できるようにしています。救急カードがある場合は、出かける際には必ず所持する様にしています。	戸外に出かける時も「対応方法メモ」を持参し、すぐに見て判断できるようにしています。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83.3%	16.7%	0.0%	利用者の情報は保護者との面談で把握しながら情報共有しています。	就学前に利用していたこども園に連絡し情報を共有しながら相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	16.7%	50.0%	33.3%	相談支援専門員の方と会議を行っています。	移行支援会議などがあった場合、情報を共有し今後の支援に繋げています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83.3%	16.7%	0.0%	発達障がい者支援センターの研修には出来るだけ参加し、職員の資質向上に努めています。	巡回教育相談を利用しアドバイスをもらったり、相談支援専門員の方にお子さんを観察して頂き助言をもらったりするなどの連携をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100.0%	0.0%	0.0%	毎年くりのみ児童館の子ども達と交流する機会を設け手話ダンスを楽しんでいます。またハートフル文化祭にも参加しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	16.7%	33.3%	50.0%		今年度は参加できませんでしたが、今後参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時活動の様子を伝えたり、連絡帳で保護者と情報を共有するようにしています。	発達について問題が出てきたときには、保護者と懸念を持ち、課題について話し合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	保護者支援として個人懇談で話を聞きながら子どもをほめるコツを伝えたり、成長を共に喜んだりできるようにしています。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	重要事項説明書について、保護者一人ひとりに話し、署名捺印して頂いています。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	相談があった時には連絡帳や個人懇談の時に対応する様になっています。	
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50.0%	0.0%	50.0%	今年もコロナウイルス感染拡大防止の為、開催は出来ませんでした。	令和6年度は以前のように保護者会活動を復活し、おしゃべり会や見学会など行っていこうと思います。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の方から相談、苦情を受けた場合、話し合い迅速に対応する様に努めています。	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	0.0%	毎月おたよりを発行したり、玄関に掲示したりHPに掲載して活動の様子を伝えています。連絡事項がある場合には、メールでその都度お知らせしています。	
35		個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	保護者に書面で承諾を頂いてから掲載しています。	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時の時だけでなく、連絡帳でも日頃の様子を伝え、意思疎通、情報交換を行うようにしています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0.0%	16.7%	83.3%		今後検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	66.6%	33.4%	0.0%	全てのマニュアルを策定し職員に周知徹底している。	保護者の方にも確認できる様、簡略化したものを玄関に置くように検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	年6回避難訓練を行なっています。そのうち1回は消防署の方が来られ、ご指導を頂いています。	避難訓練を行なった後は、おたよりやHP、玄関で掲載し保護者の方にお知らせしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止研修に職員が参加し、会議で情報伝達しながら学び合っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%	0.0%	一人ひとりの子どもに向き合い、必要があった場合には会議を開き、検討しています。その上で保護者の方と個人懇談を行いどのように支援していくかを決定し、個人記録、個別支援計画書に記入し、保護者の署名捺印を頂いて記録に残しています。	やむを得ず身体拘束を行なう必要がある時には、保護者の方と事前に相談し、共通認識を持ち行うようにしています。また書面でも確認していただき、保護者に署名捺印して行うようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50.0%	0.0%	50.0%	食物アレルギーがあるお子さん、熱性痙攣のあるお子さんに対して、保護者の方に対応を確認しています。また、主治医の意見書もいただいています。	医師の指示書を提出していただき、その上で保護者と懇談会を開き、内容と方法を話し合っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	ヒヤリハットがあった場合にすぐに書き込めるように室内のボードに掲載しています。また、次回同じような事が起こらない様に職員同士で話し合い、改善策を実施しています。	事業所のどの場所に危険が生じるか把握し、怪我を未然に防ぐように改善方法を話し合っています。	